

ふれあいパーク八日市場の概要

ふれあいパーク八日市場は都市と農村の総合交流ターミナルとして開設、匝瑳市の農特産物である野菜、植木の展示・即売や伝統郷土料理レストランの運営を行い、年間延べ 100 万人を超える来場者数があり、匝瑳市民のみならず市外からの来場者も多く地域経済の活性化の一端を担っている施設です。

<施設運営>

指定管理者制度の導入により、平成 21 年度から 3 ヶ年の管理に関する基本協定を匝瑳市とふれあいパーク八日市場有限会社が結び、また、年度毎に年度協定を結び管理運営業務を行っている。

施設運営に関する業務として、ふれあいパーク八日市場の利用促進、管理及び修繕、市や関係機関と連携した都市農村交流に関すること。

施設管理に関する業務として、建築物並びに施設設備等の保守管理や修繕、付帯施設や備品の維持管理。

<取扱品目>

- 一 取扱品数 約 1,000 品目
キャベツ、ニンジン、小松菜、ホウレンソウ、ゴボウ、大根、
サツマイモ、米など。
加工品、植木、草木

- 一 納入業者
ふるさと交流協会 会員数 128 名（法人及び団体含む）
季節会員 3 名